

第27回 鈴 青 祭



す
ず
め

第 95 号

発 行

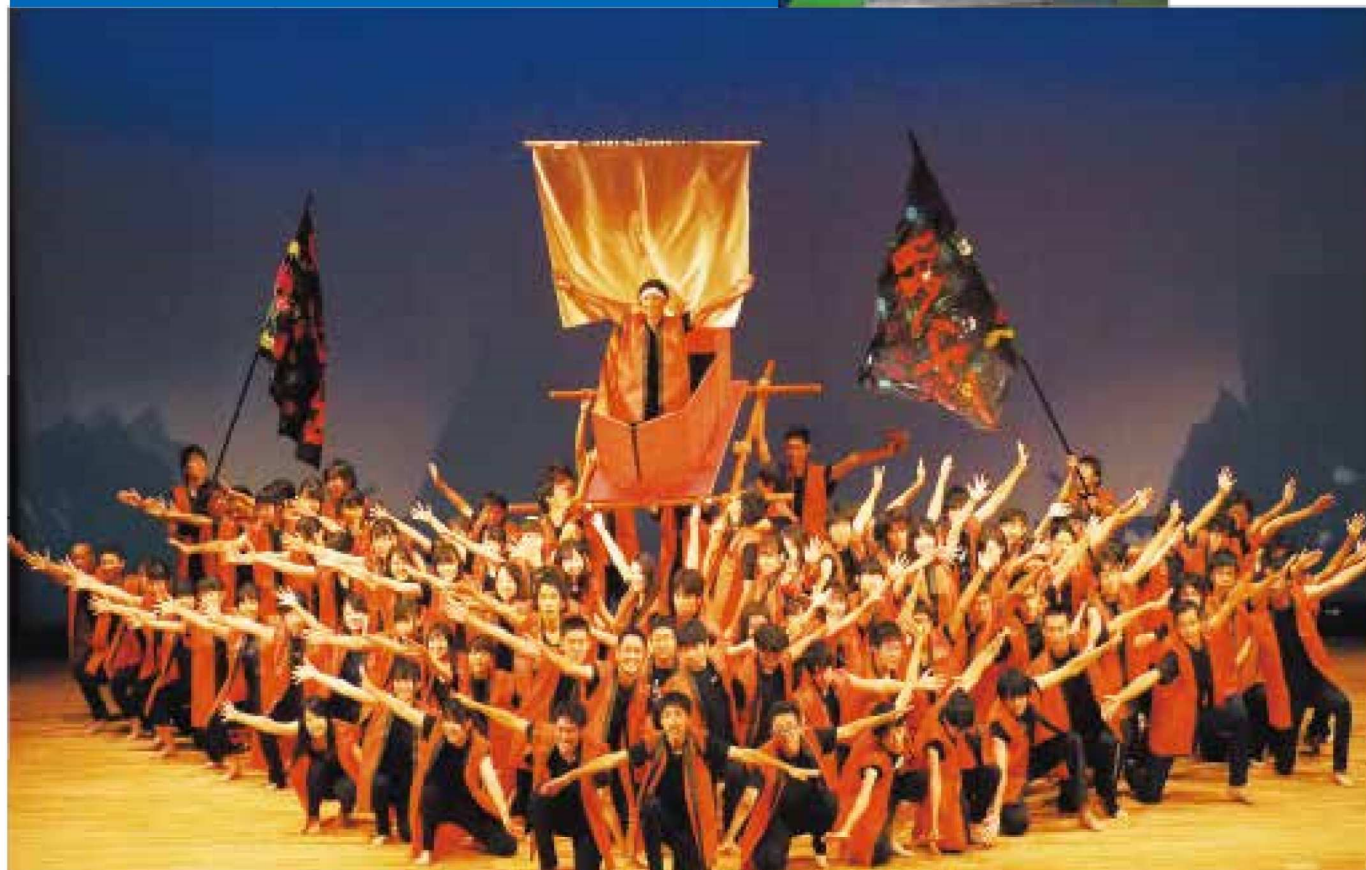
鈴鹿中等教育学校
鈴鹿中学・高等学校
保護者会広報部

印 刷

早川印刷株式会社

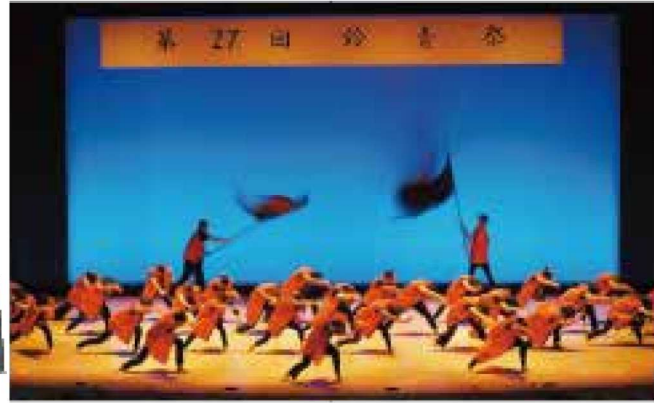
GET

☆ OVER





文化の部
1日目 9月15日
亀山市文化会館



ソーラン節



Dahlia



TWINKLE



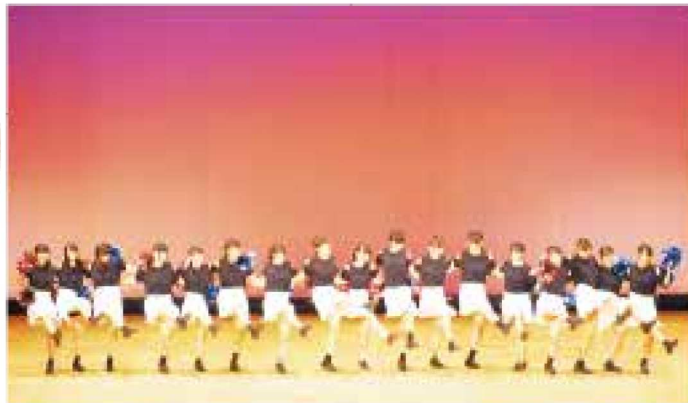
Little Bang



puella



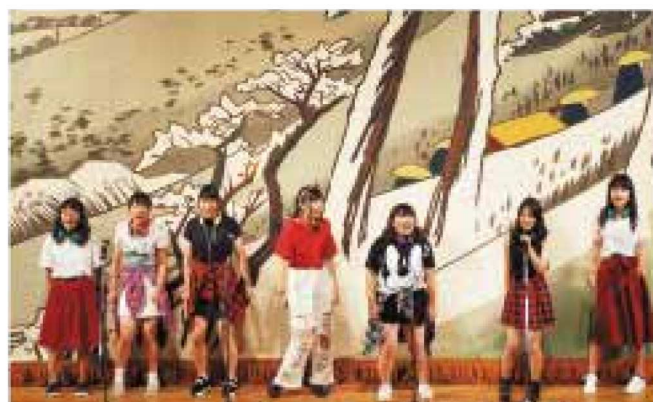
FRESH



P-28
(トウェンティ
エイト)



微女
と
野獣



Little
Harmony
♪

文化部の催し物



英語部



吹奏楽部



茶道部



美術部



放送部

文化部の催し物



科学部



小さな音楽会



吹奏楽部



保護者会コーラス 秋桜



仲間募集中♥

保護者会厚生部 バザー



バザーを終えて

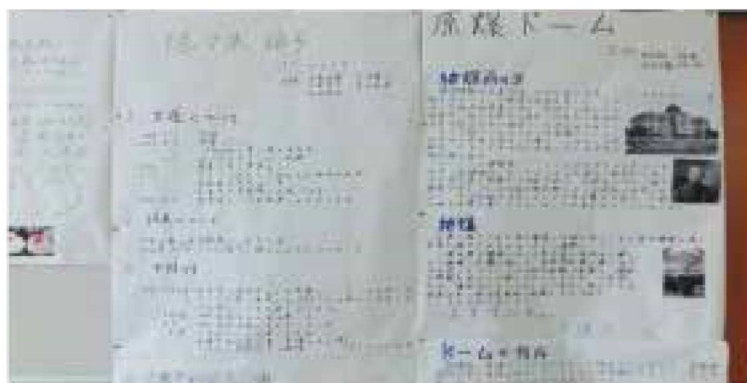
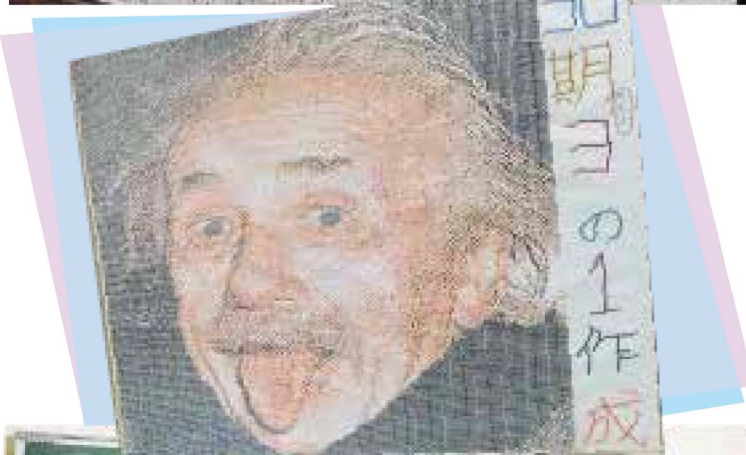
厚生部部长 田島 亜子

九月十五日(金)、十六日(土)に行われた鈴青祭において、今年度も厚生部では恒例のバザーを開催しました。皆様より数多くの商品をご提供頂き、盛大に開催することが出来ました。

本年度は、新たな試みとして鈴6エコバックを製作、販売致しました。当日は多くの方々にお越しいただき、鈴青祭では131,701円の収益金をあげることが出来ました。

また、九月三十日(土)に研修部主催で開催された「AED講習会」の会場でもエコバックの追加販売を行いました。この日の収益金は14,400円で、鈴青祭のバザー収益と合わせて、計146,101円となりました。以上、今年も実り多いバザーが開催できましたことに心から感謝申し上げます。収益金につきましては、学校・子どもたちの為に有意義に使わせて頂きます。

ありがとうございました。









CRAY-G



Splitte



るーびっく





準優勝
ブルー



チームパフォーマンス1位
イエロー



選手



イエローチーム



グリーンチーム



パープルチーム



の部

中央緑地公園陸上競技場



宣誓



優勝
レッド



3位
パープル



レッドチーム



オレンジチーム



ブルーチーム



鈴青祭体育の部を終えて

レッドリーダー

六年 中西 善巳

限られた時間で各チームごとに一人一人が協力し作り上げたダンスパフォーマンスや、チームみんなで頑張った競技種目はどれも本当に最高でした！

そして、私はレッドチームのリーダーとして総合優勝をチームのみんなからプレゼントしてもらいました！午前中の競技の時点でブルーチームに大差をつけられていて正直厳しいかな、と思っていました。後輩たちが「リーダーまだまだこれから！」と言ってくれました。

おかげで諦めずに全力で応援でき、昼から全ての競技で先頭を走り続けることができました！

これも全てチームのみんなの団結力のおかげだと思います。イエローの明るさ、ブルーの全力さ、オレンジの仲の良さ、パープルのカッコよさ、グリーンの青春、全て本当に輝いてみました。

27期にしかできない体育祭を作り上げることができ最高の思い出になりました。後輩のみんなは僕たちよりもさらに盛り上げる体育祭を作り上げてください！

本当にありがとうございます！最後にみんなは足を挫かないでね笑

生徒会の皆様お疲れ様でした。



鈴青祭を終えて

生徒会長 山下 雄大

僕は、去年の鈴青祭も、生徒会役員として携わらせていただきました。その時に見た、生徒会の先輩方の立派な姿を見てその先輩を越すためにがんばってきました。

先輩方は去年、陰の努力は大切だということを教えてくれました。今年も鈴青祭が近づくにつれて、周りの人からはあまり気づかれない陰の仕事がたくさんありました。なかなか辛いもので、「周りからはなにもしていない、ただ遊んだりしゃべったりしているだけだ」と、批判を受けることもありましたが、十分に大変さをわかってくれて応援してくれる人もたくさんいました。先日の後期生徒会の立ち合い演説会では、僕たちの陰でがんばっている姿に「あこがれたと言ってくれる子もいました。現実というものは厳しいもので、努力はしていても失敗することもあるかもしれません。とても厳しい言葉をかけられて涙を流した日もありました。

いろんな壁に直面しながらも無事、鈴青祭本番をむかえることができました。鈴青祭が終わった時、みんなの表情は笑顔でした。体育の部、文化の部の最中にハプニングが多発し、思い通りにいかなく、悔しくて泣きそうになる子もいましたが終わった後、去年の前期の先輩方に「お前ら良くやったな」とか、たくさんの人から「めっちゃめっちゃ楽しかった、ありがとう」などの言葉をたくさん頂いたため、今までの疲れや悔しさがいっしょに消えて笑顔で喜びました。正直、泣いてしまうほど嬉しかったです。これまで喧嘩もして、たくさん笑って苦楽を共にした生徒会の仲間とこのような大きな達成感と喜びを味わうことができて幸せでした。日々のストレスで会長を放棄したいと思った時もありましたが僕の側に、たくさん仲間がいてくれたので、最後までやり通し、無事成功することができました。この半年間、前期生徒会役員へのたくさん応援やご協力ありがとうございました。この経験は一生忘れません。

4年生学習合宿

浜名湖

7月28日~31日



3年生学習合宿

京都

8月1日~4日



八月一日(火)から三十期第三学年は、京都まで三泊四日の学習合宿に行ってきました。自ら課題を設定して計画的に勉強する他に講座も設定され、集中して取り組む様子が見られました。多くの生徒にとって部活引退後に設定された行事となり、切り替えという点で大変期待感の持てる学年の雰囲気でした。

ホテルの近くに京都大学があるということで、途中には大学訪問・院生達との座談会・本校卒業生を囲む会などを行いました。今後の課題研究・進路選択や勉強方法など沢山の助言と刺激を受け、有意義な時間になったようでした。

三年主任 須藤 伸也

磯のフィールドワーク

三重県鳥羽市

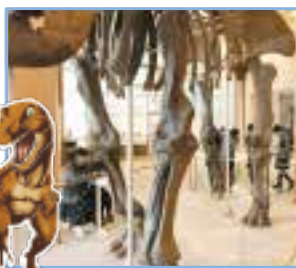
8月9日



芸術鑑賞

1年生 MieMu・三重県立美術館

11月22日



芸術鑑賞

2年生 MIHOミュージアム・信楽陶芸村

11月22日



オーストラリア語学研修

8月5日~18日

現地校授業に参加

市内見学

さよならパーティ



ホームステイ



英語研修





男子 サッカー・バスケットボール
女子 バドミントン・ドッチボール

球技大会 中等部

7月11日



男子 サッカー・バスケットボール
女子 バドミントン・ドッチボール

球技大会 高等部

7月12日



後期生徒会挨拶



会長 四年四組 杉本 雄基

私は前期生徒会会計を務めていて、鈴青祭を終えたときには疲労感と共に強い安堵を覚えました。しかし、反省点も多く、まだ自分にできることはあり、ここで終わるのは無責任だと思つて後期生徒会役員になることを決めた次第です。

私は何かでかいことをしてやろうとは考えておりません。生徒全体として本気でそれを望んでいるようには見えませんし、その前にすべきことがあると思うからです。まずは、生徒の意見を拾つて、その実現に向かって努力するのが最優先でしょう。生徒全員にとって良い生徒会活動は現実的ではないですが、学校全体にとって良い生徒会活動は可能ですから、それを目指します。

生徒会は、それに関わる生徒以外の人からの信頼無しに、満足に活動することが出来ません。多くの生徒が信頼される人になれば、理想の学校に近づけるはずですが、斯く言う私はあまり信頼されていないのですが…。

副会長 四年二組 市川 凱

こんにちは。今回、後期生徒会執行部副会長になりました、市川凱です。私は、今年度の語学研修でオーストラリアへ行かせてもらいました。その間、現地の高校でバディの授業を受けました。そのバディはイケメンで生徒会長を務めていました。彼は生徒全員からたたわれており、信頼もされていました。そんな彼がかついていた思いは生徒会に立候補しました。今年度の前期の生徒会執行部の働きは高等部になったということもあり、よくみることでできました。生徒のために全力で働いていました。私は今回生徒会執行部になりやってみようという気持ちで、来年度の鈴青祭の体育の部で、部活対抗リレーを種目に加えたいです。これは本当にしたいことで前からアンケートに書いていました。この目標を実現させるためにも細かなこと、例えば、毎日あいさつ運動をしつかりやっています。よろしく願います。

副会長 四年四組 浅田 真綿

こんにちは。今回、副会長を務めさせていただき、四年の浅田真綿です。私は、後期と前期を一度ずつ経験し、今回で三回目になります。一年間を通して感じた事は、後期生徒会での「鈴青祭の土台作りの大切さ」です。みなさんがアンケートに書いてくれた要望は、どれもすごく良い案ばかりでした。ですが、様々な問題点があり、ほとんど実現することができませんでした。だから私は、来年の鈴青祭に向けての土台作りをしつかりしておきたいです。また、今度こそみなさんの要望を叶えたいです。これが、私が生徒会役員に立候補したきっかけであり、生徒会でしたいことです。

鈴青祭で〇〇がしたいーなどの要望を持っている方は、遠慮なく何でも言うてください。みなさんの要望をすべて実現できるかはわかりませんが、どの案にも可能性はあります。たくさんさんの要望を聞かせてください。半年間、よろしく願います。

会計 四年一組 坂崎 雄大

この度、後期生徒会執行部会計になりました坂崎雄大です。生徒会役員に立候補したきっかけは鈴青祭での前期生徒会の姿を見たことでした。自分は前後に代議員をやらせていただきました。その時前期生徒会の方々が目立たないところで盛り上げようとしている姿がとてもかっこよく映りました。なので今回立候補しました。会計として生徒会をやってみようという思いは、生徒の意見をなるべく反映した新たな校則を作りたいと思います。その他に小さなイベントなども出来たら良いなと思っています。在校生の皆さんにお願いがあります。生徒会ではほぼ毎日、挨拶運動を実施しております。その時挨拶をしてくれる生徒の方もいますがまだまだ少ないです。なので出来るだけ挨拶をしてくれたらと思います。こんな自分ですがこの半年よろしく願います。

会計 三年四組 城間 磯香

後期生徒会執行部会計に当選させていただきました。城間磯香です。僕が執行部に立候補した理由は、まず第一に挑戦を避けようとする弱い自分への挑戦です。そして、その挑戦しようとする心を僕が持つことができたのは、鈴6先輩方のおかげなので、自分への挑戦と先輩方への感謝の意を伝えることができるのは、執行部への立候補だと考えたからです。後期でしたいことは沢山ありますが、まずは十二月にある合唱コンクールのための活動、そして来年の鈴青祭をより良いものとするために議論していきたいです。又、日々のあいさつ運動を大切にします。これからの期間よろしく願います。



書記 三年三組 杉田 唯

私が生徒会役員に立候補した理由は、中等部も先輩に交じり「鈴6」を支えて引張つていける仕事をする機会がせつ々あるのに、何もせずに中等部を終えてしまうのがもつたないと思ったからです。私は小学生の頃、人前に立つことがとても好きだったので、中学生になると、そんな自分もどこかへ行つてしまいました。私はこのように意見を出したはずの生徒が少なからずいると思うので、なるべく多くの生徒、先生、そして保護者の皆様の意見も沢山取り入れて、先輩方が作り上げてきた「鈴6」をさらに向上したいと思っています。最後になりますが、皆さん度は「鈴中」は〇〇になればいいのにな。」と口にしたことがあると思います。そう思ったらすぐに言つて下さい！もしかしら叶えられるかもしれない。このように在校生の皆さんを全力でサポートします。約半年間よろしく願います。

書記 三年四組 丸山 千春

私が生徒会役員に立候補したきっかけは、今年の鈴青祭を通して先輩方の運営する姿に憧れたからです。私の目に映る生徒会のみなさんはキラキラ輝いていて何よりも楽しそうでした。私もそんなキラキラした学校生活を送りたいと思立候補しました。生徒会でやってみようという二つあります。一つは、来年の鈴青祭の土台作りをすることです。私は鈴青祭が一年で一番に楽しみにしている行事です。そんな思い出に残る鈴青祭を全員が楽しみ、思い切り青春できるものになるよう準備したいです。もう一つは、挨拶運動を続けることです。全学年の人と挨拶ができる機会はあまりないので、これを機にたくさん挨拶をしていきたいです。皆さんも挨拶してくれれば嬉しいです。後期の仕事量は少ないですが、その分、皆さんの要望が叶えられるよう努力します。楽しみながらも全力で目の前にある仕事に取り組みます。短い間ですが、どうぞよろしく願います。

メディカルプロレスAED講習会

ベルアリーナ

9月30日

男子プロレス



心肺蘇生講習中



AEDマンのテーマ



女子プロレス



次回号の予告編

合唱コンクール 12月16日
3年生スキー研修 2月4～6日
マラソン大会 2月14日
高等部卒業式 3月1日
中等部卒業式 3月22日

編集後記

たくさんの方々のあたたかいご支援によって、第95号を無事に発行させて頂き、本当にありがとうございます。

今号最大の見どころは、9月に行われた鈴青祭の写真です。私たちは、生徒たちの近くで若さあふれるパワーをもらいながら、キラキラ輝く生徒たちの姿をカメラに収めるために全力で撮影しました。しかし、動きが早い生徒たちを撮るのはとても難しく、「うまく撮れへーん」「ぶれたーショック!」と時には弱音を吐いてしまうこともありました。どの写真を掲載するか、選定にとっても苦労しました。

生徒たちの熱意やパワーをお届けできたら幸いです♡♡♡

保護者会広報部一同



ドクターの浅井先生



講習会を終えて

研修部部长 山部 芳則

「ドスン、ボタン……ウオー」リングの上から響くその音の大迫力に圧倒されました。この音の迫力は実際に聴いてみないと実感できないと思います。今回、参加出来なかった生徒の皆さんも別の機会があれば、是非、生のプロレスを観戦してみてください。

またAED講習も実際にどの様に対処をすればいいのか目で観てとても分かり易かったと思います。講習の中で講師の浅井先生も仰っていました。知識だけではなく、緊急時に実際に対処に踏み出す一歩、言い換えれば「勇気・行動力」を持つてくださーいとの言葉に非常に感銘を受けました。

裏話ですが、華やかなパフォーマンスが行われるリング、実はその設置には当然地道な組み立て作業が伴います。レスラーの皆さんの行動力にも脱帽です。